

伊達市パブリック・コメント制度実施結果報告書

整理番号	No.26-1		
案件名	伊達市第2次総合計画(案)		
公表日	平成27年1月23日		
募集期間	平成27年1月23日～平成27年2月2日		
担当部・課名	市長直轄総合政策課		
実施結果	提出方法	提出者数	意見数
	持参		
	郵便		
	ファクシミリ	2	5
	電子メール		

■提出された意見とそれに対する市の考え方

No.	項目等	提出された意見等の概要	市の考え方	計画等への対応
1	基本構想 政策3	P24[政策3]地域の魅力が輝くまちづくり 2行目、相馬福島道路の整備に伴う「インターチェンジ」若しくは「国道4号線IC」周辺の付加価値の土地資源を最大限に生かした「都市的生活環境基盤づくり」に活用することにより、伊達市への企業進出環境の向上は雇用創出に結びつき、若者の定住化に大きく寄与する… という、この事項だけは明確に記述をしていただきたい。	相馬福島道路に関連する今後のまちづくりに関しては、第2次総合計画(案)P33施策3-2の政策体系において、「開通に伴う効果を最大限に活かし積極的な企業誘致を図ること」、及び、P71施策3-2の現状と課題において、「その効果として本市の可能性が大きく広がること」としております。 このような認識のもと、各種具体の計画において、多様な地域活性化策を講じることとしています。	
2	基本計画 施策2-2 学校関連	市内小学校を統合すべきである。	第2次総合計画(案)P54現状と課題の2項目めにおいて伊達市内の小中学校の現状と課題について整理し、P59基本事業4の【手段】3項目めで「小学校の適正規模・適性配置を進める」としております。	

No.	項目等	提出された意見等の概要	市の考え方	計画等への対応
3	基本計画 施策2-2 学校関連	小学校の空き施設は、前の公民館同様に地域交流のため利活用し、趣味の教室や老人談話室など色々考えられるが、検討願いたい。	小学校の空き施設の利用につきましては、スクールコミュニティ事業(子縁による地域事業)を保原、梁川小学校で推進中であります。“子どもの縁”から地域での提案のような事業へ発展していくよう、実施計画(個別具体の事務事業)策定の中で検討を進めてまいります。	
4	基本計画 政策3 ・農林業関連 ・集客関連 特別対策 ・放射能対策 基本計画 政策1 施策1-3 基本事業1	田の放射能対策として除染はほぼ終了かと思うが、畑と森林(山)は手つかずなのが現実である。人と金をかけて除染して再生すべきである。 長い年月をかけて除染を行うために、“ふるさと納税”制度を活用、除染作業や農作業を通して得た収穫物＝果物、野菜や木材などを納税者(都会の人々)へ贈る方法でできないか検討願いたい。	本市における農地除染の取組みは、農産物の放射線モニタリングと放射能吸収抑制対策を実施しています。また、山林については、第2次総合計画(案)P116の基本事業1【手段】の4項目めで「森林除染に取り組み、里山の再生を目指す」としています。 【後段】 本市の「ふるさと納税制度」は、法の趣旨に沿って運用し、ご寄付いただいた方に対してお礼として「施設利用券」を送付していますが、伊達市の産品をPRするためにも「地元産品詰め合わせ」なども選択できるよう検討してまいります。	
5	基本計画 政策3 集客関連	現在、市中心地の保原町に大型の集会施設がない。数千人収容できるコンベンションホールを建設すべきである。大泉運動公園に隣接した場所に種々のイベントが開催でき、雨降りなど悪天候でも実施可能とするのがよいと考える。	コンベンションホール(市民ホール)の建設につきましては、実現化に向け調査検討を重ねているところでありますが、少子高齢化・人口減少の中で、建設については大変厳しいものと認識しております。今後の実施計画(個別具体の事務事業)策定の中で検討を更に進めてまいります。	